

3. 斎場・墓園の有効利用

基本方針

少子高齢化の進行により一人暮らしの高齢者が急増し、「墓参りをしてくれる身内がない」「近くに墓地が欲しい」「割安で墓地が欲しい」という要望が増えているため、市営香久山墓園内に永代供養墓（合葬式墓地）の新規築造を進めるとともに、普通墓地についても計画的に造成し、供給していきます。また、火葬業務等を支障なく円滑に行うため、斎場の補修整備を計画的に実施します。



現状と課題

墓地については、市営香久山墓園の総計画基数が約 6,000 基であり、未造成区画が約 500 基となっていますが、これを葬祭時の駐車場として利用しているため、墓地の供給を続けるには、新たに駐車場を確保しなければなりません。永代供養墓については検討中ですが、時期、規模及び内容等について精査が必要となっています。

斎場については、老朽化が目立ってきたため、補修整備が必要となっています。また、動物専用の慰霊碑建立についての要望が多いため、検討していく必要があります。

墓園の管理については、共益部分の定期的な清掃を行い、美化に努めていますが、使用者にお願いしている個々の墳墓の草刈等については、不十分なところがあり、対応策を検討する必要があります。

施策指標

指標名	実績値			目標値
	H16	H17	H18	H24
香久山墓園未造成区画数	739 区画	631 区画	631 区画	475 区画
斎場使用件数	194 件	168 件	150 件	150 件

今後の取組

① 永代供養墓（合葬式墓地）の建立

一人暮らしの高齢者等からの「墓参りをしてくれる身内がない」「割安で墓地がほしい」という要望に応え、永代供養墓（合葬式墓地）の新規築造を検討します。

- 墓園施設管理事業
- 墓園造成事業

② 火葬炉・斎場の適正管理

斎場は、建設以来 20 年以上が経過しました。これまでも局所的に補修整備を行ってきましたが、設備の老朽化が目立ってきたため、補修整備の検討を進めます。

- 火葬場運営事業
- 斎場施設管理事業

③ 墓地事業の推進

香久山地区に市営斎場及び香久山墓園を整備し、市民の需要に応じてきましたが、未造成区画も残り 500 基程度（H20 年 1 月 1 日現在）となったことから、今後も計画的に造成していきます。

また、個々の墳墓の適正な管理について検討を進めます。

- 墓園施設管理事業
- 墓園造成事業



橿原市営斎場

市民等との役割分担

市民は、市営香久山墓園の墳墓使用に関し、承継についての条件や墓碑等の高さ、境界との間隔等について規定を遵守することが期待されます。

また、個々の墳墓について、使用者が除草等の適正な管理を行うことが期待されます。